

第1回調査分析部会 議事要旨

1. 日時：平成25年3月27日（水） 15：00－17：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、青木部会長代理、秋山委員、五百木委員、磯部委員、城山委員、橋本委員、渡邊委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、山田宇宙戦略室参事官、深井宇宙戦略室参事官、國友宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

冒頭、委員紹介の後、中須賀部会長より、部会長代理として青木委員が指名された。

(1) 内閣府における新たな宇宙開発利用の推進体制について
事務局から資料3に基づいて説明を行った。

(2) 海外主要国の宇宙政策及び宇宙開発利用の動向について

(3) 調査分析部会の今後の検討の進め方について

上記の議事について、事務局から資料2、4、5に基づいて説明したところ、以下のような意見があり、資料5「調査分析部会の今後の検討の進め方（案）」については、部会として了承された。

○情報収集、調査分析を行う上での方向性や目的意識が重要。

○宇宙政策委員会の他の部会とも適宜連携することや他の部会の議論に資するような情報収集、調査分析を行うことも重要。

○関係省庁等がそれぞれ持つ情報をどのように集約化していくかが課題。

○我が国における情報収集、調査分析機能の在り方について議論し、今後、本部会で方向性を出していきたい。実際に情報収集、調査分析を行う中で、そのような議論が深まると考える。

(4) 情報収集、調査分析の論点について

城山委員、秋山委員からそれぞれ資料6、7について説明したところ、以下のような意見があった。

○基礎的な情報を集めることも重要だが、百科事典を作ることが目的ではない。実際に我が国の宇宙政策の企画立案に資する有益な情報収集、調査分析を行わないといけない。

以上